

会社説明資料

(2017年9月期)

株式会社キャリア
(証券コード：6198)



1. 業績概要
2. シニアワーク事業
3. シニアケア事業
4. 業績予想
5. 株主還元

1. 業績概要

2017年9月期決算概要

2017年9月期業績は、前年同期比で売上高22.7%増、経常利益31.0%増を達成
これにより、2014年9月期から4期連続で増収・増益を達成

(単位：百万円、%)	2016年9月期		2017年9月期			
	実績	売上高比	業績予想	実績	売上高比	前年比
売上高	7,415	100.0	9,207	9,097	100.0	122.7
売上総利益	1,771	23.9	-	2,070	22.8	116.9
営業利益	417	5.6	542	536	5.9	128.6
経常利益	417	5.6	550	547	6.0	131.0
当期純利益	263	3.6	345	361	4.0	137.0

1. 業績概要

損益計算書

(単位：百万円、%)	2016年9月期		2017年9月期		YoY	2017年9月期		QonQ
	実績		実績			3Q	4Q	
	金額	売上高比	金額	売上高比		金額	金額	
売上高	7,415	100.0	9,097	100.0	122.7	2,362	2,401	101.6
シニアワーク事業	2,795	37.7	3,424	37.6	122.5	898	929	103.5
シニアケア事業	4,620	62.3	5,669	62.3	122.7	1,464	1,471	100.5
売上原価	5,644	76.1	7,026	77.2	124.5	1,819	1,881	103.4
売上総利益	1,771	23.9	2,070	22.8	116.9	543	523	96.3
販売費及び一般管理費	1,353	18.3	1,533	16.9	113.3	391	382	97.7
人件費	753	10.2	863	9.5	114.6	221	217	98.5
地代家賃	132	1.8	155	1.7	117.1	41	39	94.8
広告宣伝費	165	2.2	172	1.9	104.7	42	45	109.1
その他	302	4.1	342	3.8	113.2	87	79	91.4
営業利益	417	5.6	536	5.9	128.6	151	140	92.8
営業外損益	0	0.0	10	0.1	-	1	4	407.0
経常利益	417	5.6	547	6.0	131.0	152	145	94.9
特別損益	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	417	5.6	547	6.0	131.0	152	145	94.9
当期純利益	263	3.6	361	4.0	137.0	100	106	105.3

1. 業績概要

貸借対照表

(単位：百万円、%)	2016年9月期		2017年9月期			
	前期末		当期末		前期末比	増減額
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	1,767	89.4	2,012	88.1	113.8	+244
現金及び預金	941	47.6	982	43.0	104.4	+41
売掛金	782	39.6	978	42.8	125.0	+195
その他	43	2.2	50	2.2	115.9	+6
固定資産	209	10.6	273	11.9	130.4	△63
有形固定資産	54	2.8	53	2.3	97.1	△1
無形固定資産	18	1.0	25	1.1	135.1	+6
投資その他の資産	135	6.9	194	8.5	143.3	+58
資産合計	1,977	100.0	2,285	100.0	115.6	+308
流動負債	858	43.4	1,085	47.5	126.4	+226
1年内返済予定の長期借入金	70	3.5	19	0.9	28.6	△50
その他	788	39.9	1,065	46.6	135.1	+276
固定負債	95	4.8	78	3.4	82.2	△16
長期借入金	53	2.7	33	1.5	62.5	△19
その他	41	2.1	44	2.0	107.2	+3
負債合計	954	48.3	1,163	50.9	122.0	+209
資本金	154	7.8	154	6.8	100.2	-
資本剰余金	134	6.8	134	5.9	100.2	-
利益剰余金	734	37.1	1,041	45.6	141.9	+307
自己株式	-	-	△209	△9.2	-	△209
純資産合計	1,023	51.7	1,121	49.1	109.6	+98
負債・純資産合計	1,977	100.0	2,285	100.0	115.6	+308

1. 業績概要

キャッシュフロー計算書

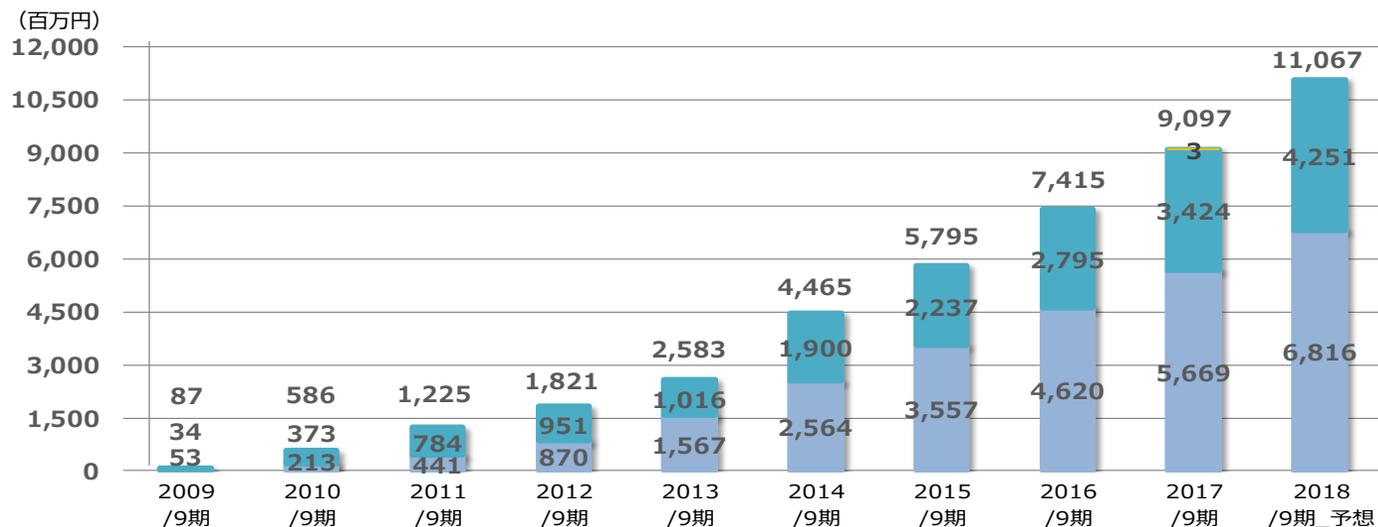
(単位：百万円)	2016年9月期		2017年9月期		増減要因
	金額	金額	金額	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	229	457	457	+228	
税引前当期純利益	417	547	547	+129	売上高の増加による
減価償却費	21	15	15	△5	
売上債権の増減額	△115	△195	△195	△80	
未払費用の増減額	16	192	192	+176	
法人税等の支払額	△123	△185	△185	△62	
その他	13	84	84	+71	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11	△83	△83	△71	
有形固定資産の取得による支出	△4	△5	△5	△1	支店開設による JR西日本キャリア株式取得による
無形固定資産の取得による支出	△1	△19	△19	△18	
差入保証金の差入による支出	△6	△14	△14	△8	
関係会社株式取得による支出	-	△48	△48	△48	
その他	1	5	5	+4	
財務活動によるキャッシュ・フロー	7	△332	△332	△340	
長期借入金の返済による支出	△256	△70	△70	+186	配当金支払いによる
配当金の支払額	-	△53	△53	△53	
株式の発行による収入	263	-	-	△263	
自己株式取得による支出	-	△209	△209	△209	
現金及び現金同等物の増加額	225	41	41	△183	
現金及び現金同等物期末残高	941	982	982	+41	

1. 業績概要

全社年度別業績推移

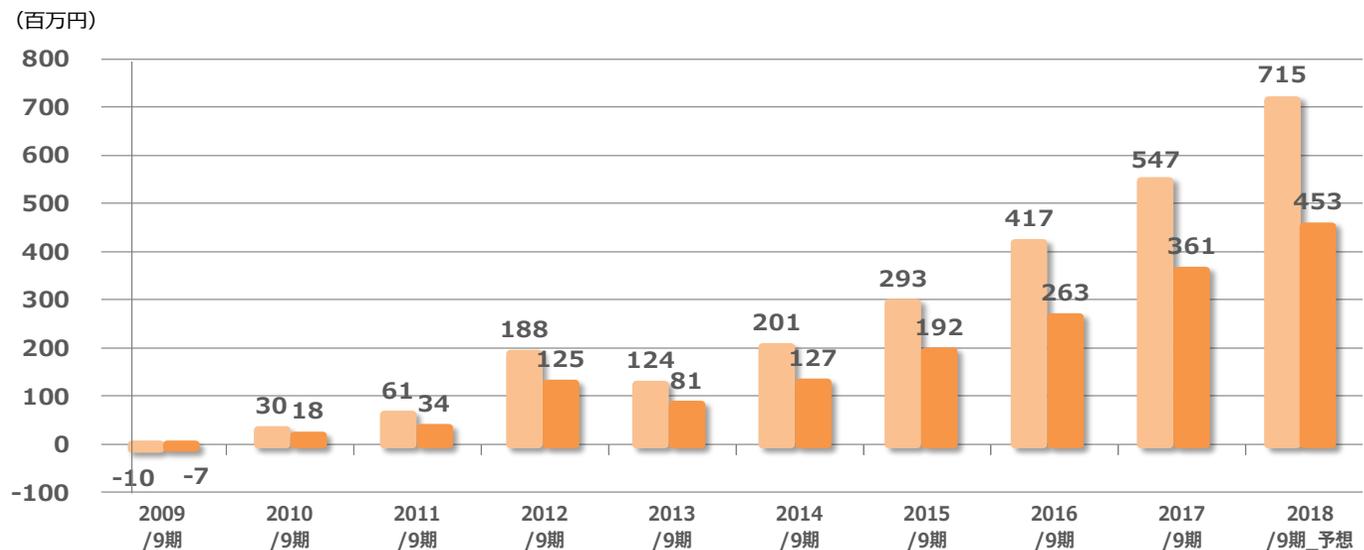
売上推移

- シニアワーク売上
- シニアケア売上
- その他売上



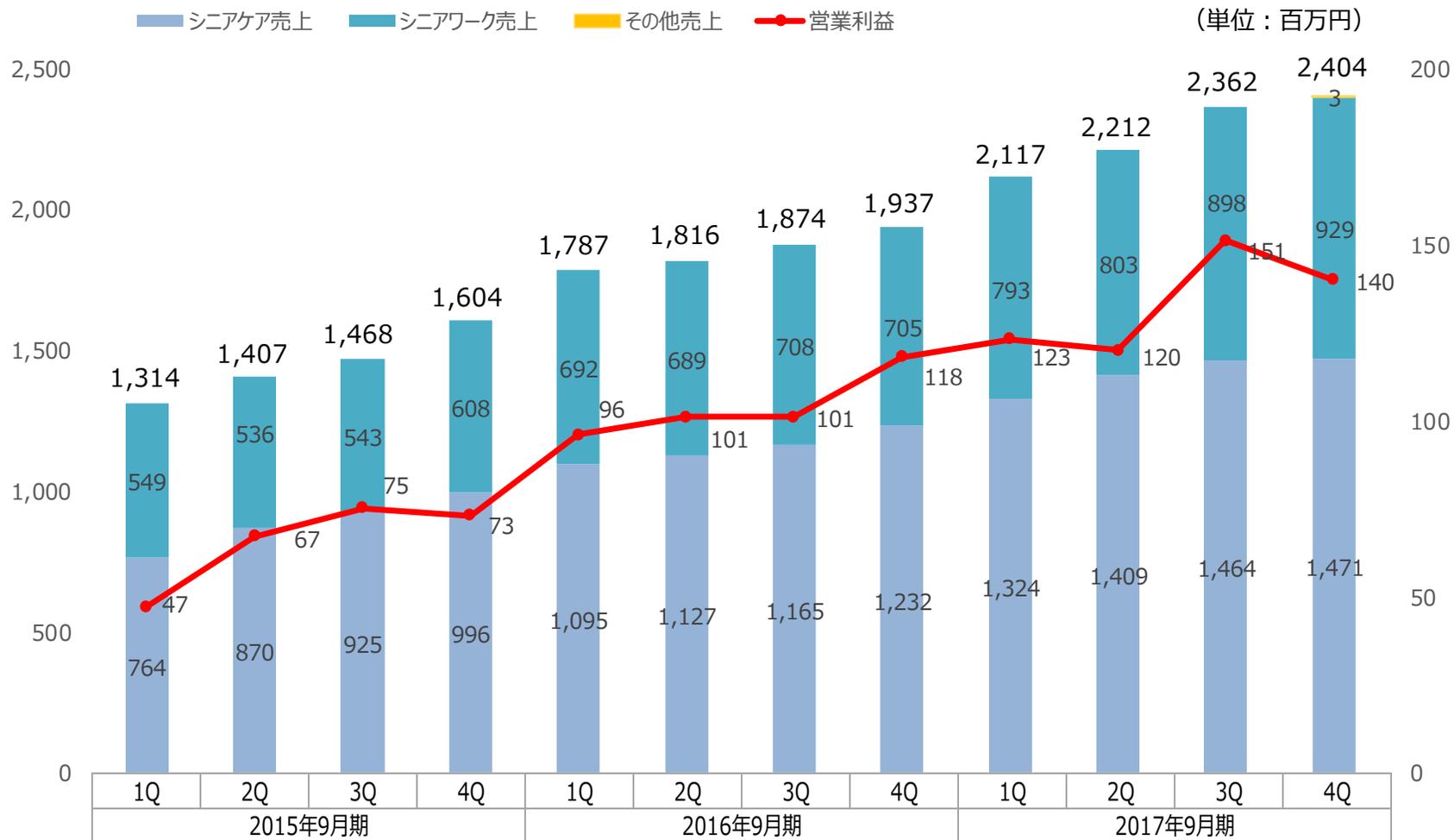
利益推移

- 経常利益
- 当期純利益



1. 業績概要

事業別四半期業績推移



-
1. 業績概要
 2. シニアワーク事業
 3. シニアケア事業
 4. 業績予想
 5. 株主還元

2. シニアワーク事業

当社の多彩な実績を背景に
シニアの特性、企業の業務フローを理解した
シニア活用コンサルタントがこのミスマッチを解消



シニア活用コンサルタント

シニア就労に抵抗のあるクライアントの現場を業務分析し、
シニアを活用する事でメリットが得られるような業務フローの改善提案を行う

このミスマッチの解消を行なう事で、クライアントにシニア活用の
メリットを感じて頂き、当社は業績を伸ばしております

※全てのクライアントに業務分析を行なっているわけではありません。

2. シニアワーク事業

人手不足を背景に、一般派遣の平均時給が大きく上昇することで、企業収益を圧迫一方で、アクティブシニアが望む就業先開拓により、当社派遣時給の上昇は緩やか



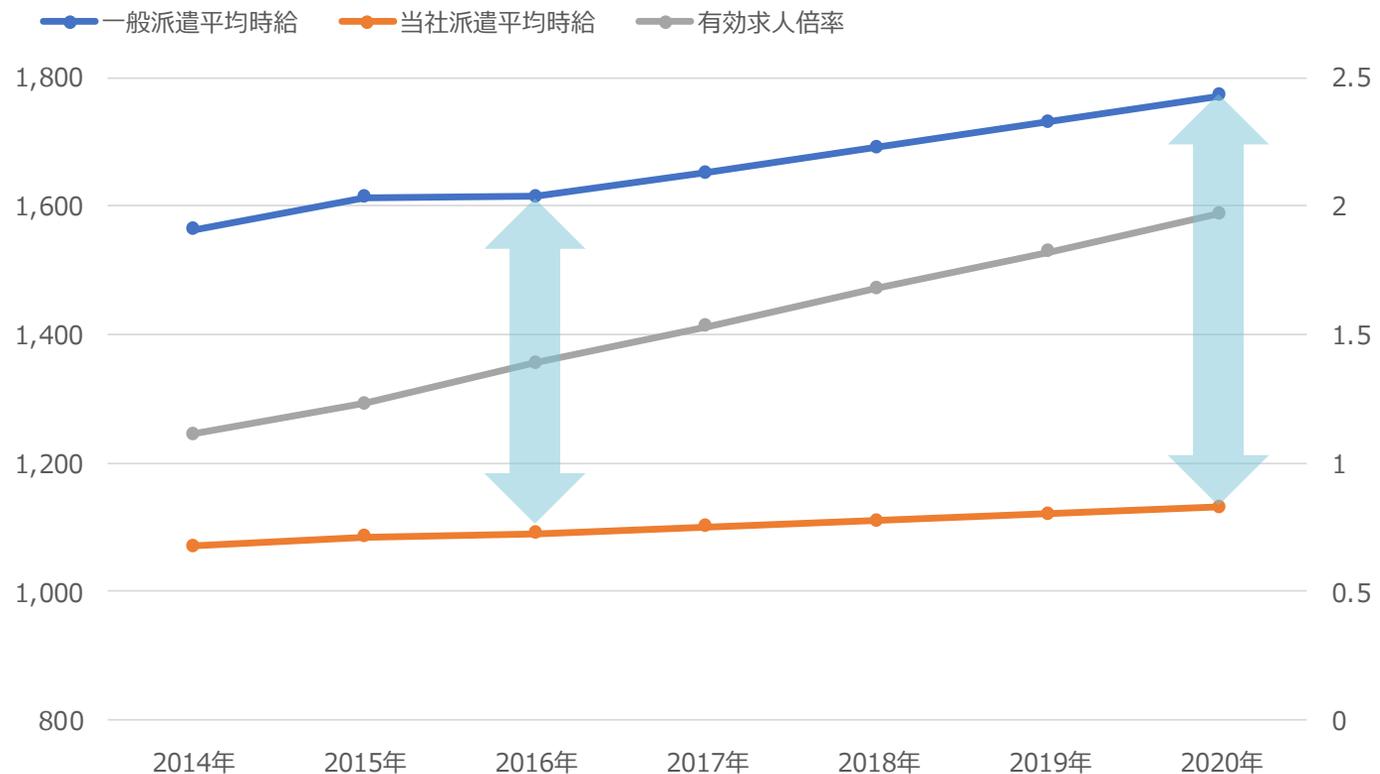
働きたいシニアの思い

- ・社会との繋がりを維持し、自分の経験を役立てたい
- ・無理なく、長く、働きたい



キャリアの強み

- ・活用事例を更新し続け、アクティブシニアの働きやすい環境の創造する

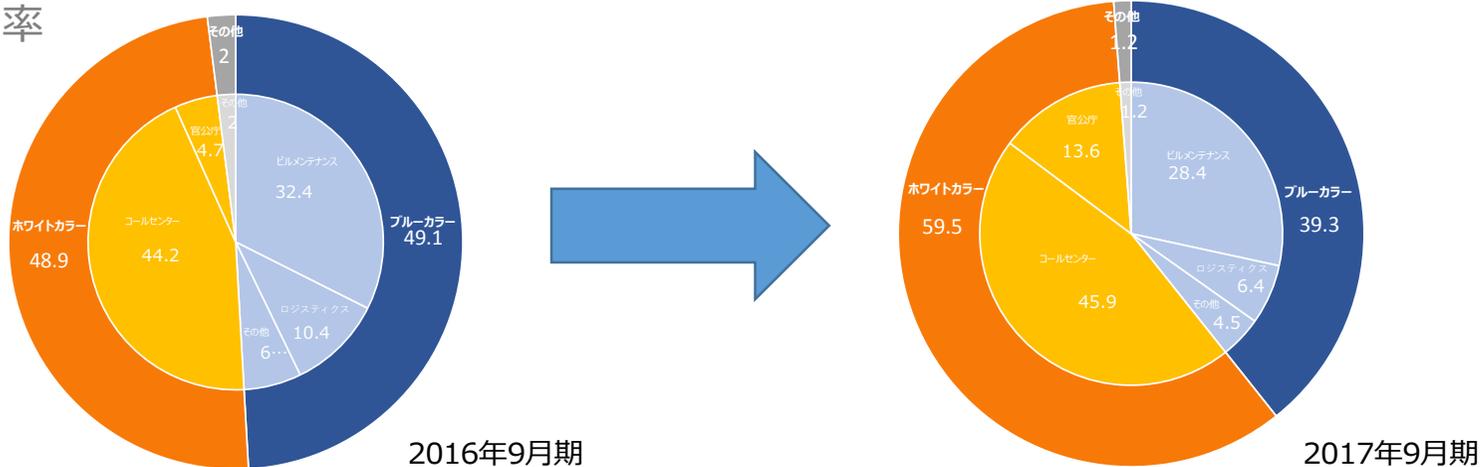


(出典：ジョブスリサーチセンター及び当社調べ)

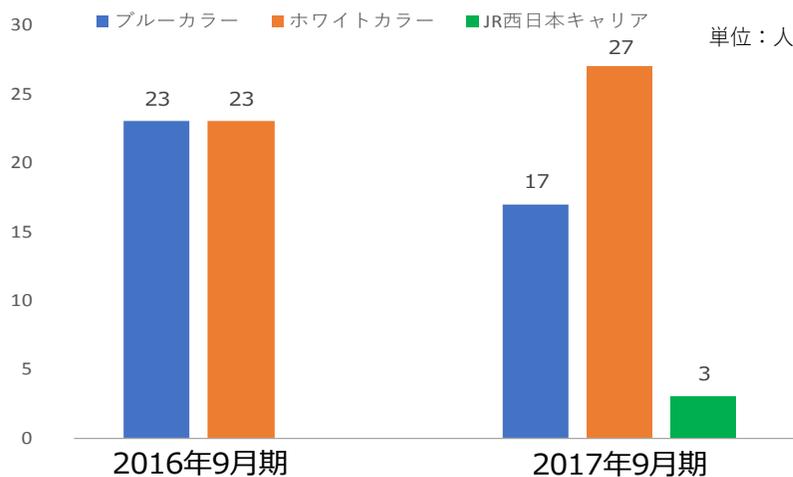
2. シニアワーク事業

ホワイトカラー職種の拡大に注力

売上構成比率



シニア活用コンサルタント推移



シニア活用コンサルタントの人員配置を見直し、シニアの就業希望が多い、一般事務職の開拓を行いました。その結果、ホワイトカラーの比率が大きく上昇しました。

2. シニアワーク事業

株式会社JR西日本キャリアの設立、事業開始

- ・2017年6月19日、会社設立
- ・2017年9月1日、事業開始

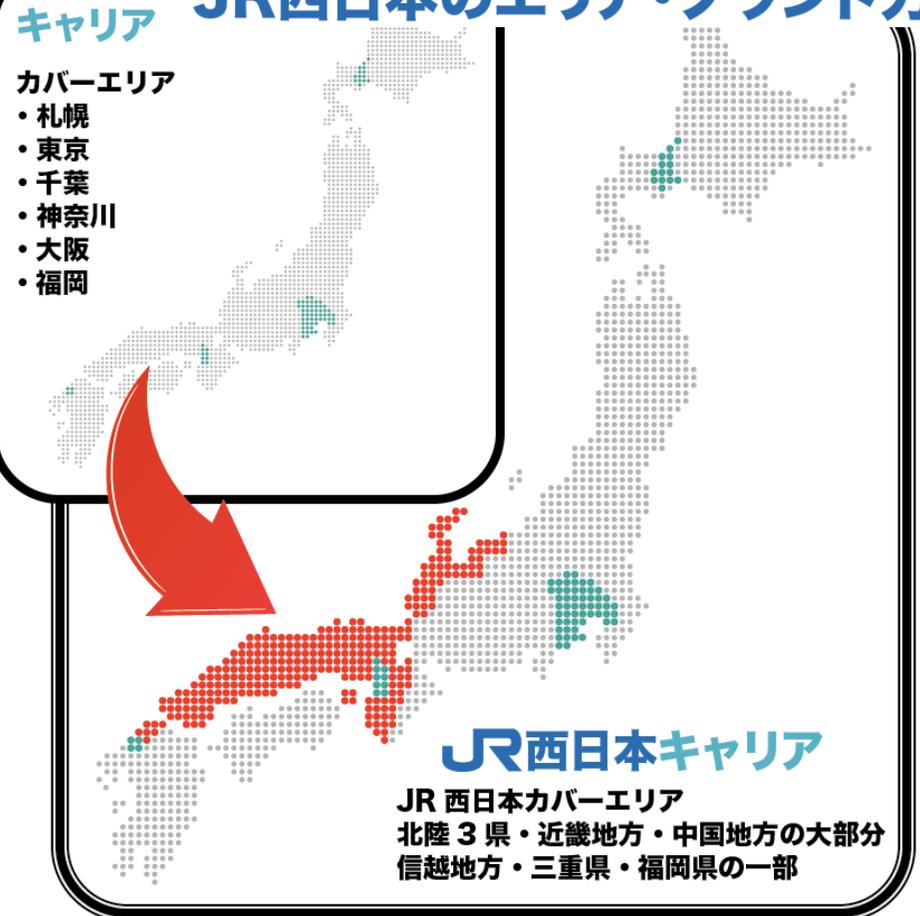
地域社会の活性化を目的に、シニア雇用の創出によるヒトの「動き」を活発化



キャリアのシニア活用ノウハウ

E3 × JR

JR西日本のエリア・ブランド力

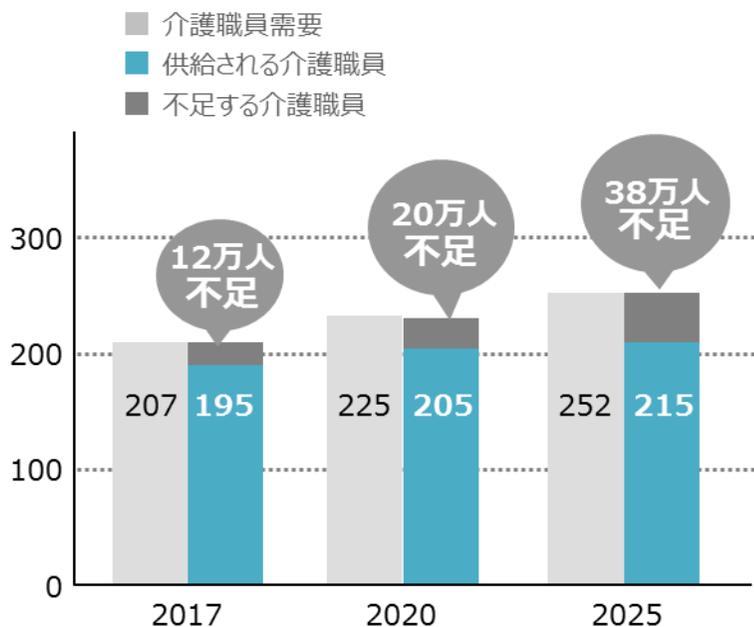


1. 業績概要
2. シニアワーク事業
- 3. シニアケア事業**
4. 業績予想
5. 株主還元

3. シニアケア事業

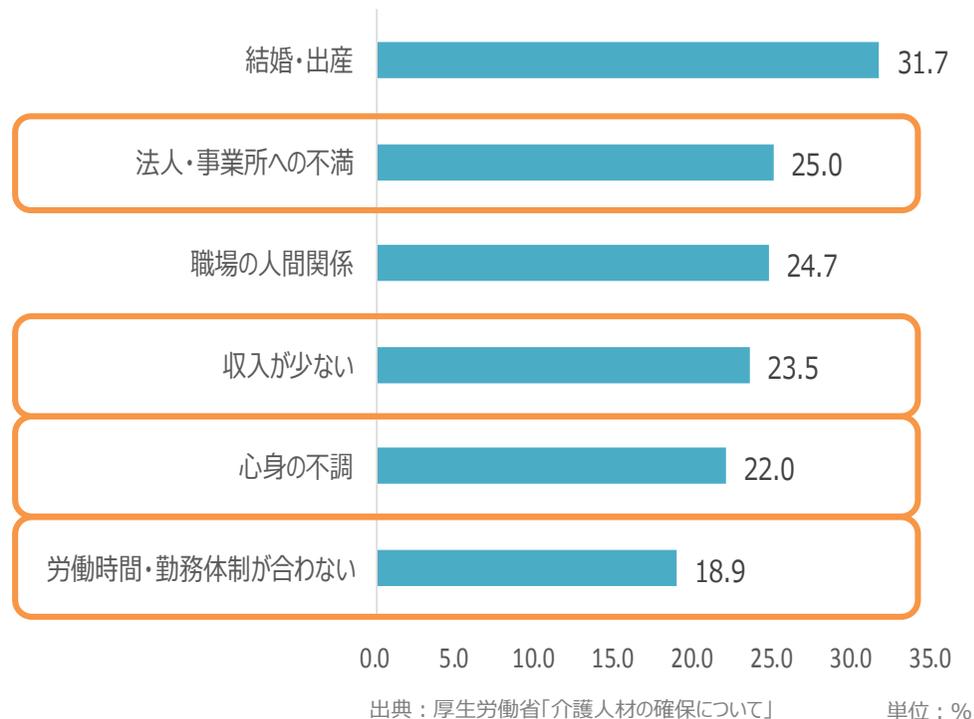
加速度的に不足する介護職員

もともと有効求人倍率の高い介護職員ですが、年々増える介護施設の需要に追いつかず、介護施設における人手不足は加速度的に厳しくなり、当社のような人材サービスの必要性が高まっております。



出典：厚生労働省「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)について」

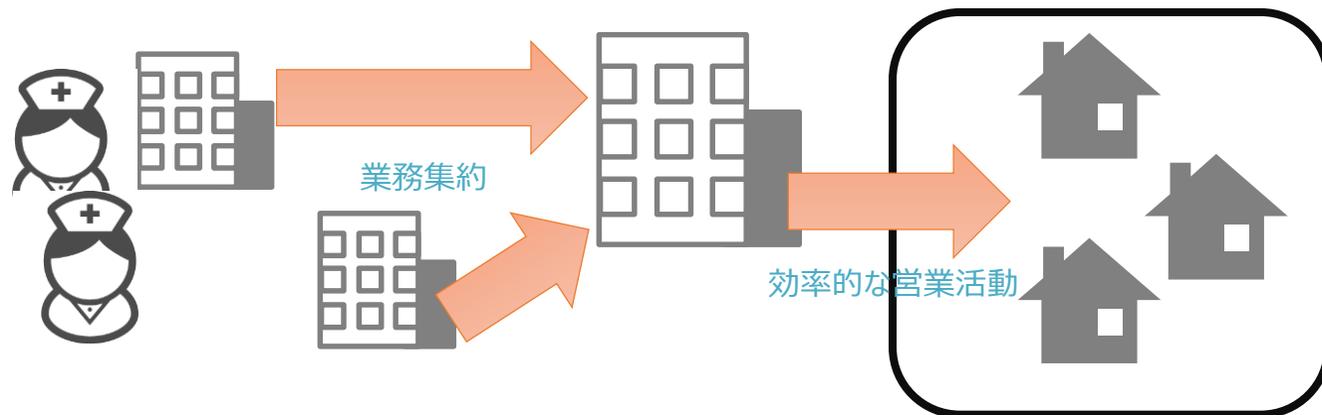
介護職員の主な離職理由



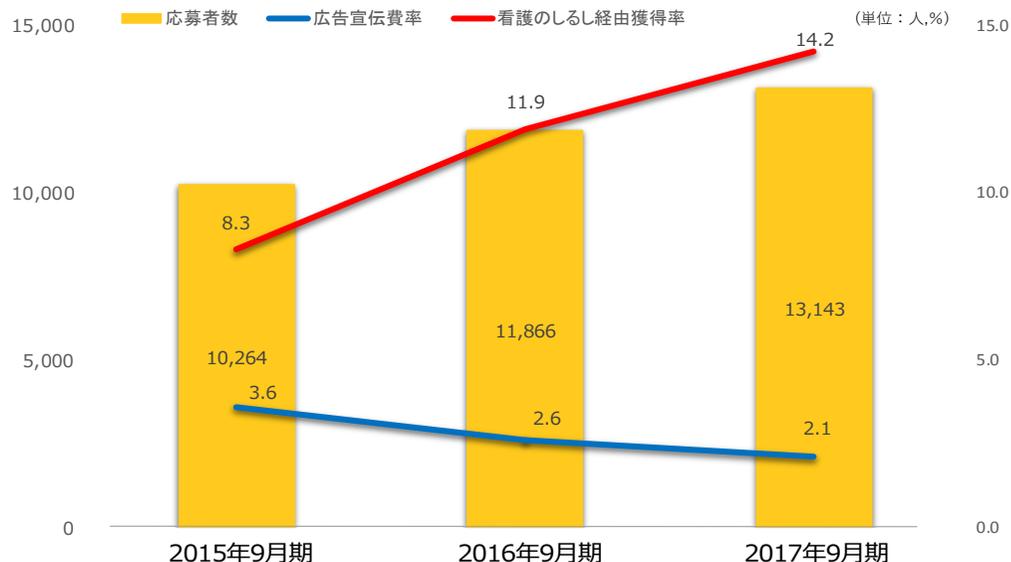
①就業環境について、②賃金について、が多くの離職理由となります。人手不足解消にはこの2点を解消する必要があります。非常勤の派遣に特化することにより、これらの不満を解消し、資格所有者を介護市場へ復職させる取り組みを行っています。

3. シニアケア事業

カスタマーセンターへの顧客開拓業務の集約により、支店業務を簡略化
以後の新規出店コストの低減および新規出店スピードを担保



応募者の効率的な獲得



当社の強みを活かした応募者の獲得をすることにより、
売上高に対する広告宣伝費率の低下を継続して
います。
また、当社の求人サイトである「看護のしるし」経路で
の応募者も増加しております。

3. シニアケア事業

(株)カナミックネットワークとの業務提携契約を締結

- ・2017年9月21日、業務提携契約を締結
- ・既存ルートによらない、販売チャネルの獲得

約22,741事業者※



※既存取引先との重複も発生しますので理論値となります

1. 業績概要
2. シニアワーク事業
3. シニアケア事業
4. **業績予想**
5. 株主還元

4. 業績予想

2018年9月期業績予想

2018年9月期業績は、前年同期比で売上高21.7%増の11,067百万円
経常利益30.8%増の715百万円を予想

(単位：百万円、%)	2017年9月期			2018年9月期		
	実績	売上高比	前年比	業績予想	売上高比	前年比
売上高	9,097	100.0	122.7	11,067	100.0	121.7
売上総利益	2,070	22.8	116.9	-	-	-
営業利益	536	5.9	128.6	736	6.7	137.3
経常利益	547	6.0	131.0	715	6.5	130.8
当期純利益	361	4.0	137.0	453	4.1	125.7

1. 業績概要
2. シニアワーク事業
3. シニアケア事業
4. 業績予想
5. 株主還元

5. 株主還元

流動性の向上

株式分割の実施

2017年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
また、2018年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定です。

配当性向の向上

1株当たり10円の間配当を実施

(単位:円)

	2016年9月期		2017年9月期	
	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金	-	15	10	7.5

※2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、2017年9月期の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、当該株式分割前に換算すると、1株当たり期末配当金は15円になり、年間配当金は25円となります。2016年9月期期末配当及び2017年9月期中間配当については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

また2015年9月期3Q以前のデータは、弊社内部管理数字となります。